

2023年 9月 28日

持続可能な社会の実現に貢献する取組

「リース会社におけるサプライチェーン排出量算定に関するガイダンス」作成に向けた検討開始

公益社団法人リース事業協会は、「リース会社におけるサプライチェーン排出量算定に関するガイダンス」(以下「ガイダンス」といいます。)の作成に向けた検討を開始しました。

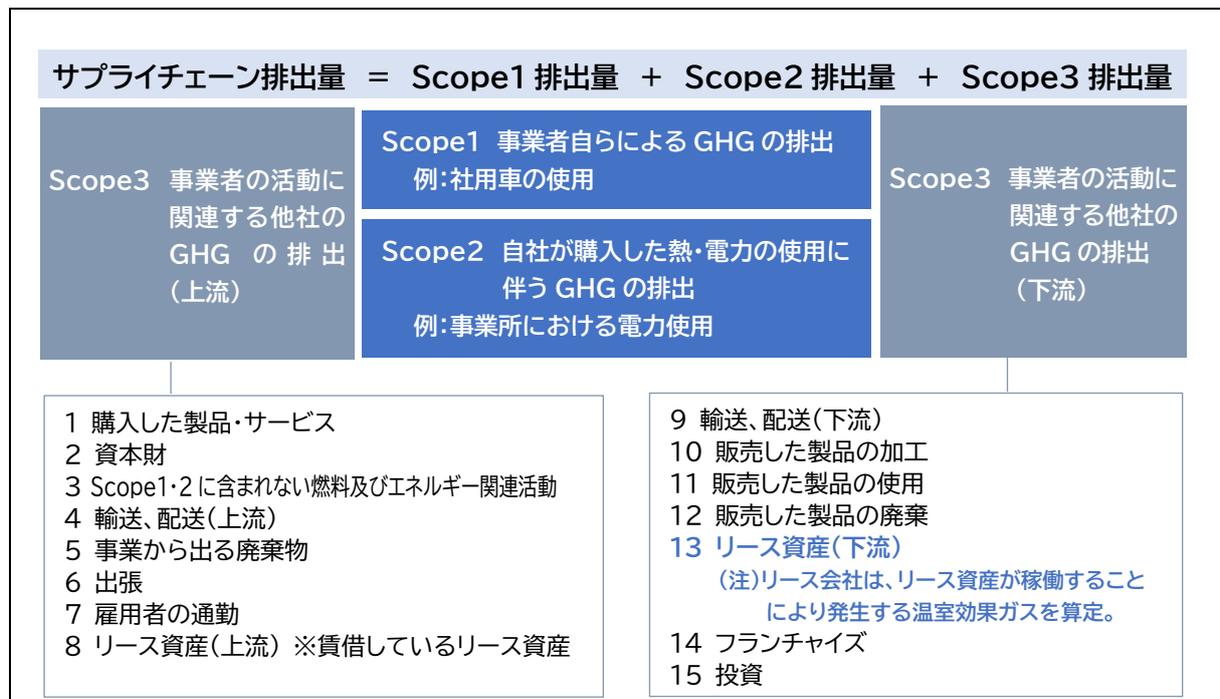
サプライチェーン排出量は、国際的な基準等に従い、自社の事業活動で生じた温室効果ガスを算定しますが、その結果を脱炭素の有効なツールとして活用することができます。

現在、当協会において、リース会社がサプライチェーン排出量を算定する際の基本的な考え方を整理しており、今後、関係者のご意見等を伺った上で、2024年1月～3月にガイダンスを作成して公表する予定です。

リース業界を挙げて持続可能な社会の実現に貢献するため、会員会社がサプライチェーン排出量を算定し、脱炭素に貢献する取組を進めることが期待されています。

当協会として、会員会社の脱炭素の取組を促進することにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

参考資料: サプライチェーン排出量の算定



本件に関するお問い合わせ 協会事務局 加藤 TEL03-3595-1501

サステナビリティに関する当協会特設ホームページ
<https://www.leasing.or.jp/sustainability/>

